

2026年 安全報告書



■ 山形県月山スキー場
特殊索道 月山ペアリフト

■ 山形県西川町民スキー場
特殊索道 西川町民スキー場リフト

月山観光開発株式会社

1. ご利用者の皆様へ

山形県月山スキー場及び西川町民スキー場をご愛顧賜りまして、誠に有難うございます。

2025年度、弊社月山リフトは2月の連日の大雪による近年にない積雪量や、除雪期間である3月後半からの荒天続きと悪条件が重なるなかではありましたが、従業員ならびに除雪関係業者の強い決意と努力により予定通り4月11日から営業を開始することができました。しかし4～5月のスキー季に入り特に連休中や週末に冬に逆戻りするような天候となり、客足はまったく伸びず苦戦を強いられるスタートとなりました。6、7、8月のスキーシーズンから月山山開きを経て登山シーズンへ移行する時期は、全般的に天候が落ち着き、特に7月は今年も昨年同様猛暑が続き、涼しさを体感できる山へたくさんのお客様にお越しいただきました。夏以降終盤の紅葉シーズンもおおきく期待しましたが、この期間はまた春同様週末毎の悪天候に見舞われ、またここ月山においても登山道近くへの熊出没により、山歩きを懸念される状況となり大きな痛手となりました。

しかし安全面においては昨年に続き拡充した内容となり9月にリフト折返滑車軸組更新工事と上り線点検台増設工事、ならびに1号7号8号各支柱点検台交換工事を行いました。

工事期間中に来場されたお客様方にはご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでしたが来シーズンもお客様をお迎えするにあたり、安全面において更に充実した内容になりました。

西川町民スキー場については12月から3月までの主にナイター営業をしているスキー場です。昨シーズンは前年末より降雪に恵まれ、1月2日より本格的な営業を開始、2年ぶりの営業となったこともあり、地元のスキークラブの方々やこどもさん、そして西川町との交流から多くの台湾の団体様にご利用いただきました。管理センター内では今シーズンも間沢食堂を営業し、一般のお客様をお迎えいたしました。

「2026年 安全報告書」は、2025年1月より同年12月までの1年間の輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について、自ら振り返るとともにさらに広くご理解いただくために公表するものであります。皆様からの「お声」を安全輸送に役立てたく、ご意見・ご要望等を頂戴できれば幸いです。

月山観光開発株式会社

代表取締役社長 庄司 昌吉

基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全従業員に周知・徹底しております。

- ① 一致団結して、輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し厳正・忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、質疑のある時は最も安全と思われる取扱いを行います。
- ⑤ 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行います。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝えます。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦するよう努めます。

(2) 安全目標

安全目標は、次のとおりであります。目標達成に向け、安全確保を最優先事項として業務に取り組んでおります。

- ① 安全第一を旨とすること。
- ② 誠心誠意でサービス。
- ③ 明るい職場を創ること。
- ④ 健康管理に留意すること。

2. 2025年度事故等の発生状況

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

2025年度の索道運転事故はなく、今後も継続して事故防上に努めます。

(2) 災害（地震、暴風雨、豪雪等）

2025年度の災害による運転停止は、安全確保のため強風・雷等の発生時に運転を見合わせた時間は下記のとおりです。

月山リフト 終日運休日数 3日

延べ運休時間 29時間30分（一部時間運休含む）

(3) インシデント（事故の兆候）

2025年度のインシデントはありませんでした。今後も継続して安全への取り組みを強化し、事故防止に努めます。

(4) その他

特筆すべき事項はありませんでした。

3. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

社外教育として、東北索道協会等の講習に積極的に参加し、索道技術の習得及び向上に努めております。

(社外教育)

- | | | |
|-----------------|----------------|------|
| ① 東北索道協会技術管理員研修 | 2025年9月2日～3日 | 2名受講 |
| ② 東北運輸局技術管理者研修 | 2025年9月11日～12日 | 2名受講 |

(2) 緊急時対応救助訓練

毎年、非常時を想定し救助訓練を実施しております。

- | | | |
|------------------------------------|------------|-------|
| ① 月山 [°] アプト救助訓練・予備原動取扱訓練 | 2025年4月11日 | 12名参加 |
| ② 西川町民スキー場リフト救助訓練 | 2026年5月4日 | 4名参加 |



【月山[°]アプト救助訓練】



【月山[°]アプト救助訓練】



【月山[°]アプト予備原動訓練】



【西川町民スキー場リフト救助訓練】

(3)安全のための諸施策

当社では、安全確保及び設備の保全を目的に、毎年整備計画を立て実施しております。
2025年度に実施した（計画外含み）各設備の主な整備は下記のとおりです。

(月山ペアリフト)

- 4月 ①13号支柱作業アーム交換（外注：日本ケーブル）
- 5月 ②14号支柱梯子修理（外注：妻沼鉄工所）
- 6月 ③1・7・8号支柱点検台交換（外注：日本ケーブル）
- 9月 ④折返滑車軸・ゴムライナー交換（外注：日本ケーブル）
- ⑤折返点検台交換（外注：日本ケーブル）
- ⑦避雷設備修理（外注：シスト電工）

(西川町民スキー場リフト)

- 12月 ①山頂折り返し乗越検出装置交換
- 12月 ②山頂降り場操作スタンド交換

5. 当社の安全管理体制

当社では、社長を輸送の安全確保に関する最終的な責任者として、安全統括管理者、索道技術管理者及び索道技術管理員を配置し、役割と責任及び権限を明確にした管理体制のもと行っております。

- 社長：輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う。
- 安全統括管理者：索道事業の輸送確保に関する業務を統括する。
- 索道技術管理者：安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- 索道技術管理員：索道技術管理者の指揮のもと、索道技術管理者の行う業務を補助する。

(安全管理体制組織図をご参照下さい)

6. ご利用の皆様へ

当社では、お客様から信頼され、安全で快適なリフトの運転を心がけ事故防止に努めておりますが、お客様の不用意な行動から事故を誘発させることがありますので、次の事項を守り係員の案内及び支持に従って下さい。

- (1) 乗降に不慣れなお客様は、係員にお申しつけ下さい。
- (2) 横向き乗車及び椅子振る行動は危険ですので、絶対しないで下さい。
- (3) 途中での飛び降りは危険ですので、絶対しないで下さい。
- (4) 万一リフトが停止したとき、係員の指示があるまでそのままお待ち下さい。

7. 連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見、ご要望などお気付きの点がありましたら、下記へご連絡下さいますようお願い申し上げます。

〒990-0703 山形県西村山郡西川町大字間沢 59

月山観光開発株式会社

☐TEL : 0237-74-2218 ☐fax : 0237-74-2804

☐e-mail : gassankk@atlas.plala.or.jp

☐HP : <https://www.gassankk.co.jp>

〒990-0734 山形県西村山郡西川町志津姥沢

月山ペアリフト（索道事業部）

☐TEL : 0237-75-2025

〒990-0703 山形県西村山郡西川町間沢 872-3

西川町民スキー場リフト（索道事業部）

☐TEL : 0237-74-4055